



2022年11月1日発行

発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集
特別委員会

第5回臨時会
第6回(9月)定例会
一般会計補正予算
一般質問
総務文教常任委員会

P2
P3
P4
P5~11
P12

市民福祉常任委員会
産業建設常任委員会
令和3年度決算・人事案件・
おでかけ市議会
国体結果・いきいき広場・
編集後記

P13
P14
P15
P16

■秋晴れの中、運動会を楽しむ
中川保育園のこどもたち

— 第5回臨時会 (8/9開催) —

三セク4社の経営統合(9/1)による指定管理者の変更を全会一致で可決

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

補正額 3,413万1千円を可決 累計208億9,078万4千円に

第5回臨時会が8月9日に開催されました。医療従事者の4回目のワクチン接種に関する経費や、道路の維持補修費、防災行政無線の修理費などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算(第5号)、第三セクターの経営悪化に伴う4社の新設合併会社「株式会社おもてなしせんぼく」が9月1日に設立されることに伴い、これまで、第三セクター4社に指定していた公の施設の指定管理者をすべて「株式会社おもてなしせんぼく」に指定を変更するなど、報告関係1件、予算関係1件、その他1件、指定管理者関係6件の計9件が審議されました。

田口知明市長の市政報告では、7月中旬以降、全国的に変異株「BA-5」と見られる感染が急速に拡大し、仙北市内の一日の感染者が50人に迫る日もあり、7月11日から23日までの一日の平均が23人になっていることから、市民の皆さまに対しこれまで以上に警戒感を強め、基本的な感染防止対策を徹底することのお願いがありました。市長自身が7月23日に新型コロナウイルスの感染が判明し、心配と迷惑をかけたとしてお詫びの言葉がありました。

第5回臨時会 可決された主な議案

◇令和4年度一般会計補正予算(第5号)

◇財産の取得について(除雪ドーザ14t級 1台 19,030,000円)

◇市民浴場「東風の湯」の指定管理者の指定について…(株)おもてなしせんぼく 代表取締役 相原 智仁

◇市民バス(中川線・下延八割線)の指定管理者の指定について…(株)おもてなしせんぼく 代表取締役 相原 智仁

◇クリオンの指定管理者の指定について…(株)おもてなしせんぼく 代表取締役 相原 智仁

◇ハートハープの指定管理者の指定について…(株)おもてなしせんぼく 代表取締役 相原 智仁

◇花葉館の指定管理者の指定について…(株)おもてなしせんぼく 代表取締役 相原 智仁

◇西宮家の指定管理者の指定について…(株)おもてなしせんぼく 代表取締役 相原 智仁

■報告事項 専決処分第7号 市道のくぼみでのタイヤ損傷に対する損害賠償金の支払い(4,620円)

※全ての議案が全会一致で可決されました。

■令和4年度一般会計補正予算(第5号)の主な事業

新型コロナワクチン接種事業費	2,920 万円	医療従事者と高齢者施設従事者等の4回目のワクチン接種経費
道路維持補修費	91 万円	市道補修のための原材料費
防災行政無線維持管理費	403 万円	松木内地区中継局のアンテナ修繕費

■第5回臨時会での主な質疑

◆令和4年度一般会計補正予算(第5号)について

質問 医療従事者の4回目のワクチンはモデルナ製か。また、接種会場を増設する計画はないのか伺う。

答弁 モデルナ製である。ファイザー製は当面使用しない。会場はこれまで同様の3会場である。

質問 今回補正のワクチン接種は、59歳以下の医療従事者と高齢者施設の従事者とのことだが、連日、クラスターが発生している保育施設の従事者と学校関係者は含まれていないのか。

答弁 今回の補正予算には含まれていない。今後、オミクロン株対応の新ワクチンによる接種が拡大される予定であり、保育施設の従事者と学校関係者は新ワクチンでの対応を予定している。

質問 市道補修のための原材料費の内容を伺う。

答弁 市職員が直轄で補修するための簡易舗装材及び碎石等であり、7月までの使用量が対前年で1.5倍から2倍ほどになっており、今後、不足が予想されるための補正である。

◆除雪ドーザの財産取得について

質問 これまで使用していた除雪車は、下取りに出すのか、廃棄するのか。また、国からの補助金はないのか。

答弁 まだ使用可能であり、予備車として角館地区に保管し運用する。国から2/3の交付金がある。

◆議案第67号 クリオンの指定管理者の変更について

賛成討論

市民に親しまれている温泉施設なので、事業採算性も大事だが、利用者増に繋がる運営を期待して新会社への指定管理者の指定に賛成する。

—第6回(9月)定例会—

一般会計補正額 5億4,406万3千円を可決 累計214億3,484万7千円に

オミクロン株対応の新ワクチン接種費用、小・中学校及び公共施設の非接触型自動水栓化や角館庁舎2階のWEB会議用仕切り設置などの新型コロナ対策費や冬期間の除排雪費の増額などの補正予算を可決

第6回定例会が9月1日から9月30日までの30日間の会期で開催され、冬期間の除排雪費の増額などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算(第6号)、令和3年度決算認定や選挙運動の公営に関する条例改正案など、報告関係1件、条例関係3件、予算関係5件、決算認定関係12件、その他1件、人事関係1件、諮問関係3件の計26件が審議されました。議会初日には、各議案の上程の後に、教育委員会委員1名の人事案が可決され、人権擁護委員3名の諮問が原案どおり答申されました。その後、本会議、各常任委員会審査を経て、令和4年度の一般会計補正予算(第6号)は、市内小・中学校及び市内公共施設における新型コロナ対策として、非接触型の自動水栓の設置費や、コロナ禍によるWEB会議に対応するため、角館庁舎2階の会議室を仕切る工事費、マイナンバーカードを幅広く活用できるためのシステム改修費や当初予算に計上できなかった冬期間の除排雪費4億5,738万円などが可決されました。加えて、選挙運動における選挙カーとポスターの限度額を改正する条例案や仙北市職員の育児休業等に関する条例の一部改正する条例案も可決されました。

議会最終日には、追加議案として報告関係2件、予算関係1件が審議され、一般会計補正予算(第7号)では、オミクロン株対応の新ワクチン接種費用や漬物加工設備等を整備する補助金などが可決されました。

最後に、議員提出議案(第4号)として、落合野球場の改修整備に係る工事費の支援を県と国に求める意見書が審議され、全会一致で可決されました。

■第6回定例会 可決・同意・答申された議案

- ◇仙北市議会議員及び仙北市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算(第6号)
- ◇令和4年度仙北市集中管理特別会計補正予算(第1号)
- ◇令和4年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ◇令和4年度仙北市田沢財産区特別会計補正予算(第1号)
- ◇令和4年度仙北市下水道事業会計補正予算(第1号)
- ◇令和3年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市集中管理特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市生保内財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市田沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市雲沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和3年度仙北市病院事業会計決算認定について
- ◇令和3年度仙北市温泉事業会計決算認定について
- ◇令和3年度仙北市水道事業会計利益の処分及び決算認定について
- ◇令和3年度仙北市下水道事業会計決算認定について
- ◇字の区域の変更について
- ◇仙北市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(3人)
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算(第7号)
- ◇落合運動公園野球場の改修整備の財源確保を求める意見書

落合運動公園の改修内容(予定)	
野球場 (本体)	内野及びウォーミングゾーンの排水・舗装・バックネット等球場施設
野球場 (付帯建築)	洋式トイレ、スコアボード改修
野球場 (付帯工事)	L E D電光掲示板(上下分割仕様)

今冬の除雪費増額補正(4億5,738万円)可決で例年並みの予算確保!!

令和4年度一般会計補正予算(第6号・第7号)の主な事業

本庁舎等維持管理費	618万円	コロナ禍によるWEB会議対応として角館庁舎2階会議室を仕切る工事費
公共施設自動水栓化事業費	1,839万円	市内の公共施設の水道を非接触型の自動水栓にする工事費
小・中学校手洗自動水栓化事業費	1,731万円	市内の小・中学校の手洗い用水道を非接触型の自動水栓にする工事費
社会保障・税番号制度システム整備費	1,081万円	マイナンバーカードの利用拡大のためのシステム整備費
マイナンバーカード申請支援業務委託事業費	533万円	郵便局でのマイナンバーカード申請業務委託費
認可保育園等管理費	189万円	認可保育園等でのおむつ処理経費及び中川、白岩保育園の施設修繕費
児童遊園地施設維持管理費	27万円	生保内造道児童公園の遊具塗装費(すべり台、ブランコ、鉄棒)※回転遊具は撤去
園芸用燃油高騰緊急支援事業費補助金	183万円	燃油高騰対策のヒートポンプエアコン導入への補助金
冬期交通対策費	4億5,738万円	市道の除排雪費(当初予算が2,226万円)
学校保健特別対策事業費	1,080万円	小・中学校のコロナ対策用品購入費(消毒液、体温計、空気清浄機など)
新型コロナワクチン接種関連事業費	1億2,750万円	オミクロン株対応の新ワクチン接種費用
6次産業化経営力強化事業費補助金	149万円	漬物加工所の設備整備に対する補助金

本会議・予算常任委員会での 主な質疑

除雪費の財源として取崩した

財政調整基金は枯渇しないのか

質問 今冬の除雪費の主な財源である財政調整基金の取崩額が7億円を超えたが、今後の突発的な財源や令和5年度の予算編成を考慮すると、大変心細く感じるが大丈夫か。

答弁 財政調整基金については、平成28年度決算時点ですべて27億円あったが、今回の補正予算後の現在額は、約9億500万円である。今後、国からの譲与税や特交税確定後の財政調整基金への積み戻しや、各事業終了後の執行残額の積み戻し等があれば増える要素はあるが、基金現在額を最大限意識した当初予算編成に努めたい。

オミクロン株対応の新ワクチン接種の対象者について

質問 新ワクチンの接種は、60歳未満の4回目の接種は全員が対象となるのか。開始時期はいつからか。

答弁 従来型(ファイザー製及びモデルナ製)のワクチンを2回以上接種済みの12歳以上のすべての市民を対象としており、前回の接種日から5箇月以上経過していることが条件である。オミクロン株対応の新ワクチンの本格的な接種は、10月8日から来年1月終了を目途に計画している。

質問 従来型(ファイザー製及びモデルナ製)のワクチンの在庫はどうするのか。

答弁 1回目、2回目をまだ接種していない市民用に保管する。3回目以降のワクチン接種は、すべてオミクロン株対応の新ワクチンを接種する計画である。

6次産業化経営力強化の漬物加工所への

補助金の対象者は

質問 漬物加工所の設備整備に対する補助金の対象者と周知方法を伺う。

答弁 今年度中の設備整備を希望した田沢地区の2名である。7/16付の広報誌での周知や電話での聞き取りを行い、30数名に確認した。令和5年度の設備整備希望者が17名いる。

議決結果/議員賛否 令和4年 第6回 仙北市議会定例会(招集日:令和4年9月1日 最終日:9月30日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件 名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	薺生会						公明党	共産党	無会派						
					真崎寿浩	青柳宗五郎	小林幸悦	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	小田島広仁	西宮三春	中村和彦
議案第76号	令和4年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		9/30	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第79号	令和3年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について		9/30	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第81号	令和3年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		9/30	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第92号	仙北市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		9/1	同意	全会一致						議長代理	全会一致						欠	
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		9/1	可と決定	全会一致						議長代理	全会一致						欠	
諮問第 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		9/1	可と決定	全会一致						議長代理	全会一致						欠	
諮問第 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		9/1	可と決定	全会一致						議長代理	全会一致						欠	

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

避難所でもある 西長野交流センターの屋根補修を早急に！

蒼生会 小林 幸悦 議員

市長 物価変動を確認しつつ適切な対応を行う

西長野交流センターの今後の在り方について

質問 西長野交流センターは災害時の避難所や選挙の投票所等として利用され、体育館は、多くの方が毎日のように利用している。屋根の状況が非常に悪く、塗装については予算化できず、このままだと屋根の劣化だけでなく、雨漏りによる天井、壁、床が傷み、荒廃していくと考えられる。今後のセンターの在り方、屋根の工事を実施した場合の工事費について伺う。

答弁 今後の在り方については、令和2年度に公共施設等総合管理計画の個別施設計画で、方針としては部分廃止、今後10年後を目途に体育館存続と譲渡の可能性を検討することになっている。令和5年度に総合計画、総合管理計画の見直しを予定しており、丁寧な住民との対話を通じた検討を重ねていきたい。

平成25年の体育館の屋根吹き替え工事の見積り額は、約2,600万円だった。旧校舎側の屋根吹き替え工事も、同程度か、それ以上の金額と推測され、現在は物価変動に

より、大幅に上がっているものと推測される。見積金額の上昇を確認しつつ、適切な対応を行っていく。

老朽化が著しい市営住宅への対策は

質問 岩瀬住宅が老朽化しており、災害時に大丈夫なのか心配である。トイレの水洗化、下水道の状況、住宅の戸数と入居戸数について伺う。また、市営住宅戸数と入居率、耐震性のない住宅の入居者への対応、老朽化が著しく解体を考えている戸数について伺う。

答弁 岩瀬住宅は6棟33戸あり、入居戸数18戸である。新耐震基準では耐震性がなると判断され、上水道は接続されているが、下水道及び浄化槽への接続はされていない。

全体の市営住宅は、政策的空き家を除いて236戸あり、入居率は93.22%である。耐震性のない住宅の入居者には意向を聞き、耐震性のある住宅への転居等を提案していきたい。また、現在の除却予定戸数は21戸である。

旧角館公立病院解体の見通しは

質問 平成29年に新病院に移転してから5年が過ぎたが、旧病院の解体の見通しと現在の解体工事費について伺う。また、管理棟は市の書庫として利用したいとの説明があったが、今も同じ考えなのか伺う。

答弁 旧角館総合病院解体に関する実施設計は完成しているが、その後、

土壌汚染やPCB調査等が必要となり、更に令和5年度にアスベスト追加調査等を実施することになり、その後に解体工事を行う。

令和元年度作成の実施設計では、旧病院全体を除却する設計で、解体費は5億4,000万円弱であったが、アスベスト

処理に関する規制強化や建物解体関連単価の上昇があり、現時点での解体費は約6億5,000万円と想定している。

管理棟を公文書センターとする案については、ワーキンググループで検討しているが、施設管理や財政上の諸問題も含め、結論に至っていない。

(小田島広仁記)



■一向に利活用や解体が進まない旧角館公立病院

小・中学校のトイレ環境の早期改善を

西宮三春議員



教育長 児童生徒の教育環境の向上のため、是非実現したい

小・中学校における
トイレ環境の改善に
ついて

質問 先日、市内すべての小・中学校を訪問し、トイレの状況を確認してきたが、洋式のトイレを増やすこと、悪臭がするトイレの改修を早期にできないか。

答弁（教育長） トイレの洋式化は、教育環境の改善、コロナ禍における感染症対策としての効果も期待されている。教育委員会ではトイレ整備に関して、各トイレに一つ程度和便器を残し、他は洋便器とする方針のもと、改修工事を来年度から計画的に実施する。

せんぼくこまくさプ
ラン事業の継続と絶
え間ない支援を

質問 コロナ禍等の経済支援として、無料で生理用品を提供する「せんぼくこまくさプラン事業」における一般の方への支援について、毎月の利用者数と今後も事業を継続していくのかについて伺う。また、周知方法及びナプキンの種類を増やす予定はないのかについて伺う。

答弁 昨年7月の開始から14カ月で480個、月平均34個、34人の利用、カード交付は、全体で175名。周知については、市のホームページに掲載している。利用状況に応じて広報誌にも掲載したい。

ナプキンの種類について要望は出ていないが、要望があれば検討したい。貧困に悩む女性のために始めた事業なので今後も継続して取り組む。

質問 学校でのこまくさプラン事業の周知方を伺う。また、この事業が開始されてからの性教育について伺う。

答弁（教育長） 学校での周知については、学校報、養護教諭の働きかけにより周知。性教育については、小学校は、体育の保健分野で体の成長について指導。また、特別活動において初潮指導を行っている。

中学校は、保健体育科において性について計画的に指導し、性教育講座として、医者や専門家から講話を聞く時間を設けている。子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、絶え間ない支援に努めていく。

旧西木公民館、冬の
安全対策について

質問 旧西木公民館の道路側にあったブロック塀は、昨年度の落雪により壊れて撤去された。西明寺小学校の通学路であり、ブロック塀が無くなって最初の冬を迎える前に次の点を伺う。

①旧西木公民館の解体時期について

②想定される落雪による安全対策について

答弁 ①については、除却予定であるが、現在、利活用を希望する地元の方へ売却して、その後解体する方向で協議中であり、実現に向けて努力したい。

②については、2年続けた大雪で、冬期間の施設管理も非常に難しいが、通学路でもあり、市民の安全を第一に考えて、積雪状況を確認しながら安全対策を実施する。

市民が利用しやすい
庁舎開放を

質問 市民に開放している角館庁舎が、利用時間内でも施錠されていたり、休日は、駐車場に近い出入口が開かないなど、市民から、利用しにくいとの声があるが、理由を伺う。

答弁 21時30分まで利用可能だが、利用者がいないと防犯上施錠していることがあった。今後は利用時間まで施錠しない。また、土日・祝日は、防犯上、駐車場横の出入口は施錠している。正面玄関から出入りいただくよう市民の皆様にも更なる周知を行う。

（中村和彦記）



■落雪等の安全対策が必要な
旧西木公民館

収入が聞きたい 7人の提言 収入を上げ行政サービス向上への施策を！

小田島 広仁 議員

市長

活用できるあらゆる方法を模索し 収入の向上へ繋げていく

収入を上げる具体的な 施策や今後の企画 について

質問 収入を上げるための現実的な可能性を伺う。

答弁 財政健全化の実現には歳出の抑制だけではなく、国、県補助金等の特定財源の活用やふるさと納税寄付金の増収対策に、これまで以上に取組むとともに、自主財源である使用料や手数料等の見直しも検討していく。

質問 人口減少や経営環境の悪化から、収入の要としてふるさと納税の返礼品に仙北市ならではの物品や、体験型の商品を用意していくべきではないか。

答弁 当市にとってふるさと納税は大変貴重な収入源であり、ふるさと納税が無ければ財政調整基金はすでに枯渇していた。

令和3年度は前年度より減収している状況を重く受け止めた上で、今年度は、返礼品の撮影などの経費を助成するなどして、昨年度の2.7倍の823の返礼品がラインアップされている。

今後の商品造成については、主力の食品系だけではなく

くアフターコロナを見据え、旅行系の商品造成に力を入れていく。仙北市の観光地としての強みを活かし、観光需要とふるさと納税がマッチした商品の造成に力を注いでいく。

さらに、市と中間業者による顧客管理を徹底し、丁寧な対応を心がけり。ピーター獲得に取り組む事で、仙北市の地域活性の活力に繋がるように進めていく。

質問 収入を上げるために入湯増税についてどのように考えるか。

答弁 本市の入湯税率は条例により一人一日150円と規定しており、地方税法に定める標準税率と同じである。本市において貴重な財源と認識しているが新型コロナウイルス感染症が続く中、温泉施設に影響を与えることを考えると慎重に検討していく必要があると考える。

「返礼品なし」劇団 わらび座応援寄付について

質問 ふるさと納税として、返礼品なしで一企業だけを助けるための商品を用意したこと問題になり、中止となつ

たようだが、この件についてどう考えているのか。

答弁 ふるさと納税は高い公益性、透明性が求められることから、一企業であるわらび座を支援するには向かないと考え一度お断りをしたが、再度協議した後、制度上の問題がないという理由と、今回の仕組みを内陸線にも活かせることから併せて開始したが肯定的な意見も頂戴した一方で、反対意見にも正当性があり4月22日に中止した。

今後はこのようなことがないよう市政運営に慎重に取り組み、ご迷惑、ご心配をお掛けした全ての皆様にお詫びしたい。

今年度のプレミアム 商品券について

質問 今年度は、希望した冊数を購入できなかった市民が多かったようだが、抽選方法を教えていただきたい。また、この事業でのトラブルや市民からのご意

見、ご要望などはなかったか伺う。

答弁 プレミアム商品券は、仙北市商工会が事業主体である。今年度は、発行冊数を大幅に上回る申し込みがあり、希望通りの冊数に満たなかった方もいたようだが、一冊も当選しない世帯はないと聞いている。抽選方法等の問い合わせには、答えられないことの同意を得て申し込みをいただいている。この事業での特段のトラブルは発生していない。2回目の販売についての問い合わせや、大型店で使える券を増やして欲しいなどの要望があったようだ。

(澤田 雅亮 記)



発行冊数を大幅に上回る申し込みがあった「プレミアム商品券」



中村和彦 議員

内川橋から岩瀬橋付近までの 桜並木を名勝指定にできないか！

市長

専門的見地からの指導を仰ぎ指定が可能か検証する

JR角館駅周辺の整備等について

質問 角館駅東公園の環境整備計画はあるのか。

答弁 角館駅東公園は緑豊かな植栽やベンチ、東屋の設置により交流と憩いの場を創出し、スポーツ、レクレーション等、多目的な活動の場のオープンスペースとして今後も適正な管理をしていく。

質問 遊具や砂場の設置は考えていないのか。

答弁 (建設部長) 広いスペースを保持する芝生広場という位置づけで遊具も1基にしている。砂場もスペースに十分な検討が必要である。

質問 トイレの洋式化は出来ないか。

答弁 (建設部長) 以前から要望があり、近いうちに洋式化したいと考えている。今後の予算化に向けて、全体の予算の中での優先順位等を検討していく。

質問 駅東西自由通路について市長はどの様に考えているか。

答弁 過去にも一般質問があったが事業費が膨大であるということから、正直、今の仙北市の財政状況を鑑みる

と、なかなか実現はむずかしい。

落合運動公園周辺の景観について

質問 土手の桜等は整備が進んでいるが、球場裏手の残土や雑木を処理し、景観形成をして、観光客や市民に活用していくべきと思うがどうか。

答弁 残土については、旧角館病院解体時に利用を予定している。解体後の当該地の景観については、別途残土置き場を設定し、景観に配慮した管理を検討したい。

質問 内川橋から岩瀬橋近くま

での桜を新たに名勝指定して、現在の2kmの桜ロードを日本一の5kmにするこ

とで、観光客の分散化と新たな魅力の創出に繋がり、滞在時間も延長するのではないかと思うがどうか。

答弁 桜保存管理協会や文化庁



■内川橋から岩瀬橋間の桜並木(落合運動公園付近)

等の専門的見地からの指導を仰ぎ、文化財指定が可能か検証していく。景観維持や観光資源としての活用バランスを考えつつ、桜の保護に努めていく。

仮称、お祭り会館について

質問 お祭り会館について、過去に何度も質問があったが進展がない。その重要性について市長の考えを伺う。

答弁 曳山公開展示施設整備検討委員会を設立し、平成31年1月30日付けで報告を受けている。報告を受けた建設場所とは旧中町庁舎敷地であるが、旧中町庁舎及び敷地は譲渡の方針で今に至っている。季節を問わず観光資源としての価値を観光客に提供できる観点から、お祭り会館の必要性は感じている。市の財政状況の改善度合いを見ながら今後も検討していく。

道の駅構想について

質問 これまで多くの議員が道の駅について質問してきたが、現在の状況はどうなっているのか。

答弁 設置に向けて様々な課題を解決しなければならないと考えている。6月に農産物直売所施設について認定農業者にアンケート調査を実施した。また、7月に直売所連絡協議会総会場で意見を伺ったところ、販売する農産物を取りそろえることが困難な状況にあり、否定的な意見が多かった。今後さらに調査分析を行っていく。

(荒木田俊一記)

仙北市の観光を、今後どうされたいか

澤田 雅 亮 議員

市長

来年度からの新たな「第三次観光振興計画」に しっかりと盛り込みたい

仙北市観光振興計画 について

質問 来年度から実施の仙北市第三次観光振興計画の策定を、外部委託する理由と応募件数、委託候補者を伺う。

答弁 これまで職員が手作業で策定してきたが、コロナ収束後の新しい生活様式やデジタル化の加速化など、刻々と変化する観光ニーズに対応する観光施策と将来展望を見据えて委託事業とした。応募は5社あったが、株式会社J R東日本企画秋田支社が受託候補者に決定した。

質問 第二次観光振興計画を2018年から実施し今年度が最終年度である。コロナ禍3年目となったが、計画の見直し等は行ったのか。また、

計画の具体的なアクションプランの成果を伺う。

答弁 (観光文化スポーツ部長) コロナの状況が非常に不透明なこともあり、特段見直しはしてこなかった。ウイズコロナ時代を迎え、観光協会、観光DMOとさらに連携した観光振興を進めていきたい。

答弁 プロジェクト1の温泉活用プランは、仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会設置、疲労ストレス測定器による温泉入浴効果分析。一般的適応症と泉質別適応症を整理して、温泉法で定められている10の泉質の内、8泉質を持つ仙北市で温泉につかることで得られる効能等を明らかにできた。

プロジェクト2の何度も訪れたいまちづくりでは、イン



■計画は、実践が伴って生きてくる

バウンド向けの旅行商談会や台湾の中学校との交流をオンラインに切り替えた。教育旅行は、県内や隣県への誘致活動を行ってきた。

プロジェクト3の市民主体のまちおこしでは、市民コンシェルジュや観光教育は、市内小中学校や大曲支援学校せんばく校で取り組みが進んでいる。市や観光協会との連携は、更に強化が必要と考えている。

質問 第二次振興計画でのサービス向上の取り組みを伺う。

答弁 年間通して、乗合タクシーの導入、時期限定で抱返り溪谷へのシャトルバス運行などに取り組んできたが、コロナの流行や需要が限定的で中止した。現在は、臨機応変な対応がとれる「よぶ・のる角館」の巡回バスを角館エリアで実施している。

消防団員の処遇について

質問 消防庁が、団員級の年額報酬を3万6,500円、出動報酬災害時、1日当たり8,000円と定め、各市町村に報酬等の検討を求める旨の通知を出しているが、仙北

市の対応を伺う。

答弁 年額報酬は、団員級が3万円から3万6,500円に、火災・風災害等出動手当は、1日4時間以内は、5,000円、4時間を超えた場合は、8,000円の支給で検討している。条例改正を進めて参りたい。

質問 報酬、手当の支給方法について伺う。

答弁 (危機管理監) 年報酬については、個人の口座に振り込み、出動手当は、消防団にまとめて支払っている。配分の仕方は、分団ごとに決めて頂いている。

マイナンバーカードの取得率向上について

質問 8月14日現在で仙北市の取得率は36.6%と伺った。市の目標数値と市の職員の取得率を伺う。

答弁 仙北市の取得率は、県内自治体平均65%を大きく下回っている状態であり、まずは50%を目指したい。市職員の取得率は、7月末時点で、43.1%であり、まずは自分たちから取得率を上げる取り組みをしたい。

(平岡 裕子 記)

菅沢踏切から国道 105 号線までの 道路改良を急ぐべきだ

蒼生会 青柳 宗五郎 議員



市長 引き続き可能性を追求していく

菅沢踏切から国道 105号線までの道 路改良について

質問 合併前の角館町時代から要望があった角館町上菅沢地区の県道広久内角館停車場線の道路改良については、早急に安全性を確保し、渋滞緩和へ向けて改良に取り組むべきと考えるが、市としてはどのように考えているのか。

答弁 この区間の道路改良に関する県に対する直近の要望は、平成24年、地元5町内会より仙北市長へ要望書が、市議会議員長へ請願書が提出され、平成25年3月仙北市長並びに議会議員長より秋田県知事へ要望書を提出している。さらに、秋田県議会議員長へ陳情書を提出している。

仙北地域振興局建設部が道路改築計画策定のための意見交換会を平成26年27年に2回開催し



■早期改良が望まれる上菅沢地区県道

ているが、県では拡幅を伴う改良ではなく、道路の幅を変更せず、道路幅内での整備計画を示したが、関係する町内会のうち一つの町内会より、拡幅なしの計画では承服しかねるという文書回答が提出された。

他の町内会では、県の示した計画案でも良いという回答もあることから、3回目の意見交換会を開催したが意見集約はできず、県としては地元

ることはないので、要望者である五つの町内会の意見集約を図った後に、もう一度意見交換会を開催することとしている。

その後の意見交換会は開催されていないため、五つの町内会の意見集約ができていないと思われる。

この区間の道路改良は交通安全において必要なことと考えるので、今後も県との情報交換に努め、引き続き改良の可能性を求めていく。

元J A角館より購入 の角館駅前土地利 用について

質問 この土地を購入したいきさつは。

答弁 元J A角館の土地に関しては、秋田新幹線開業時の角館駅前整備と同時期に行われた、角館町道駅北線の改良事業（駅前ロータリーから県道257号線交差点まで）で当該敷地を利用したものと認識している。

質問 角館駅の利用者からは、田町山の駐車場は不便だと声を聞くが、利便性を図るためこの土地を駐車場として整備をしてはどうか。



■さらなる利活用が望まれる角館駅周辺の土地

答弁 現在は、冬期間の除排雪場所として活用しているが、今後の駅前の利活用に関しては、様々な選択がされる状況と考えるが、市が保有する空き地活用等については、売却も含めて様々な可能性を検討していきたいと考えている。

（真崎 寿浩 記）

抱返り溪谷の夏瀬温泉までの遊歩道整備を

蒼生会 真崎 寿浩 議員



市長

県に要望しているが具体的な計画はない

抱返り溪谷周辺の整備について

質問 遊歩道のみならず安全柵の設置状態、街灯等の安全対策と、緊急時の対応について（常設対応の必要性）伺う。

答弁 これまでも安全柵が落石等により損傷が起きた際は、修繕等を行ってきた。安全柵の嵩上げ等に関しては、県とも十分に議論をしていく必要がある。一方、照明は基本的に夜間の通行を防ぐ意味合いから、玉川左岸、白岩側の第二駐車場から上流は整備する必要がないと考えている。

ただし、玉川右岸、神代側の抱返り神社から神の岩橋までの部分については、第一駐車場から近く、夕暮れ時の歩行も想定し、平成30年度LED照明を整備した。緊急時の対応は、将来的

には遠隔カメラやセンサー設置などが想定されるが、引き続き県と調整したい。

質問 受け入れ体制のさらなる充実を求める。

答弁 ①通年観光の体制づくり
②遊歩道未整備区間の整備に関して県に対する働きかけと具体的な計画について
③駐車スペースの整備
④夏瀬温泉へのアクセス整備
⑤遊歩道の歴史的背景や経緯を活かしての整備



■抱返り溪谷のさらなる安全対策を

きい時期は、閉鎖せざるを得ない。

②回顧の滝から飯村少年弔魂碑までの復旧工事が終わったが、夏瀬ダムまでの未整備区間についても、引き続き県に要望しているが具体的な計画はない。今春に回顧の滝の展望スペースの損傷も含め、早期復旧に向けた要望を続けていく。

③利用者の季節変動が大きく、市で新たな駐車スペース等の整備予定はない。

④市道夏瀬線を平成26年度より過疎対策事業で道路改良工事を行っており、今年度も発注に向けて現在準備中である。

⑤遊歩道が森林軌道を活用して造られているなどの情報は看板やチラシなどに記載されているが、紅葉期以外の新たな誘客につながる可能性もあり、まずは私たち市民が歴史を認識し、観光客の皆様にもお伝えできるように努力したい。

水道事業について

質問 市の水道の供給体制は万全か。

答弁 本市の水道施設は昭和40年代から50年代に完成した

ものが多く、老朽化に伴う漏水等が頻発している。計画的に老朽化対策等の事業を行うため仙北市水道事業基本計画を策定し、毎年3億7,000万円もの更新費用が見込まれている。令和4年度予算では、近年漏水等の被害が多い箇所を選定し管路更新5路線と施設の電気・機械設備等の更新を予定している。しかし、料金収入の低迷から更新費用が財源不足となり建設改良工事の実施が厳しい見通しとなっている。水道インフラを維持管理し次世代に残すためには、水道料金の値上げをせざるを得ない状況になっており、抜本的な見直しが必要と考える。

質問 整備計画に対して、平等性は保たれているのか。（不平等感が生じていないのか。）

答弁 現在実施の卒田地区未普及地域解消事業が令和7年度完成予定となっている。以降は、意識調査実施の上、優先順位を決定する。事業実施の判断は、即時加入が最大の判断材料になることをご理解いただきたい。

（西宮三春記）

総務文教常任委員会

全小・中学校及び公共施設に自動蛇口設置を承認

9月定例会の総務文教常任委員会では、市議会議員選挙及び市長選挙における選挙運動の公営に関する関係条例の改正や地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業介護休業等育児又は家庭介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の改正、令和3年度の決算認定、令和4年度の補正予算などについて審査されました。

補正予算では、各公共施設・学校等におけるコロナ対策や補正財源のあり方などについて議論されました。

令和4年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

本庁舎等維持管理費	617万円	角館庁舎 2F 会議室に仕切版の設置 (web 会議対応)
公共施設自動水栓化事業費	1,838万円	公共施設の水道蛇口を非接触型の自動蛇口とする (279 個分)
小学校手洗自動水栓化事業費	1,020万円	小学校各校の水道蛇口を非接触型の自動蛇口とする (151 個分)
中学校手洗自動水栓化事業費	710万円	中学校各校の水道蛇口を非接触型の自動蛇口とする (105 個分)
小学校保健特別対策事業費	585万円	全小・中学校における消毒液、非接触型体温計、空気清浄機、自動体温測定器、二酸化炭素モニター等の購入経費
中学校保健特別対策事業費	495万円	

令和3年度 一般会計決算認定審査の質疑から

質問 少子化や人口減少を食い止め、少しずつ人口を増やしていき、市税を増やしていく事が今後求められる。

厳しい状況だが、それを成し遂げるためにも選択と集中のもとメリハリを付けた事業展開が必要と考えるが、財政当局の考えを問う。

答弁 人口減少が進んでいく中で、世代間負担の考え方も必要と考える。そこを踏まえてしっかりと財政運営を行っていきたい。



■非接触型の自動水栓

ここが知りたい 議論のポイント

令和4年度 一般会計補正予算の主な質疑

質問 財政が厳しい中での今後の補正財源の在り方について。

答弁 現段階では、財政調整基金を取り崩して行かなければならないと考えている。今後、不用額等が出た場合の活用や、国の補正予算が見込まれている情報もあることから、情報収集に努め、この財源を活用した補正も考えている。

質問 財政調整基金に頼らない補正予算の組み方を考えていかなければならないと考えるが財政当局の考え方は。

答弁 ここ数年は財政調整基金に頼っている

るのが現状。歳出規模を見直さないまま右肩上がりに推移し、予算規模が膨らんでいる。当初予算に向けては、財政フレームの在り方や規模をもう少し見直しする必要があると考えている。

交通政策費の内、

地域公共交通対策費について

質問 JR東日本などと協議し「よぶのる角館」を西木地区に展開することはできないのか。

答弁 よぶのる角館でうまくいったところを今後、西木地区、神代地区、白岩地区にフィードバックしながらそれぞれを発展させていきたい。現時点では、よぶのる角館を西木地区へ展開するよりもデマンド型タクシーをより進化させ利便性を向上させていきたい。

市民福祉常任委員会

全保育施設でオムツの持ち帰りを廃止するための諸経費を計上

9月定例会の市民福祉常任委員会では、令和4年度一般会計補正予算及び令和3年度決算について審査されました。全国的に進んでいる保育施設におけるオムツの持ち帰り廃止に向けた必要諸経費が計上されました。

令和4年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

認可保育園等管理費	189万円	全保育施設で、オムツの持ち帰りを廃止するためにかかる備品等の準備費用及び白岩、中川保育園施設等の修繕費用
児童遊園地施設維持管理費	27万円	生保内造道児童公園の遊具塗装費用（すべり台、ブランコ、鉄棒）
戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費	1,151万円	マイナンバーカードの活用拡大のためのシステム改修委託経費
マイナンバーカード申請支援業務委託費	533万円	マイナンバーカードの申請を郵便局に委託する経費
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	12,750万円	オミクロン株対応の新ワクチンにかかる接種関連費用

令和3年度病院事業会計決算を認定 ——厳しい病院経営を議論——

常勤医師確保の取り組み成果が現れてきている

質問 全国的に見ても、医師確保には苦勞しているが、経営の安定化を図るためには、やはり常勤医師を一人でも多く確保することが最も近道であり、それが市民の安全安心に繋がると思うがいかがか。

答弁 我々も同じ思いである。常勤医師の確保に向けて、ドクターバンクの活用や大曲厚生医療センターとの連携を強化していきたいと思っている。また、修学資金を貸し付けていた1名の方が、医師免許を取得し、今年の4月から、角館総合病院に勤務している。また、修学資金貸与者で秋田大学医学部で初期臨床研修中の医師2名が、現在角館総合病院で研修中であり、少しずつではあるが、これまでの取り組みの成果が現れているところである。



■常勤医師の確保が大きな課題の病院事業

(単位：千円)

	角館総合病院	田沢湖病院	合 計
医業収益	3,077,091	600,696	3,677,787
医業費用	3,859,775	879,765	4,739,540
医業利益	-782,684	-279,069	-1,061,753
医業外収益	637,113	300,888	938,001
医業外費用	145,522	37,983	183,505
経常利益	-291,093	-16,164	-307,257
特別利益	12,832	1,871	14,703
特別損失	2,600	0	2,600
純損益	-280,861	-14,293	-295,154

ここが知りたい 議論のポイント

令和4年度一般会計補正予算の主な質疑

全保育施設でオムツの持ち帰りを廃止することについて

質問 保育施設でのオムツの持ち帰りを廃止するのはいつからか。また、保育施設での保管方法や回収方法はどうするのか。

答弁 10月から二つの保育施設で試験的に先行して、11月には全保育施設で廃止したい。大仙市の事例を参考にして、蓋つきのポリ容器に保管

システム改修のたびの業務委託の在り方について

質問 システム改修のたびに、国庫負担とはいえ多額の業務委託料が発生しているが、この現状を担当課としてどう思うか。

答弁 業務委託に対する問題意識は持つており、委託する業務内容の把握にも努めている。今回のシステム改修では、今後仙北市にしながら全国この自治体の戸籍情報も取得できるようにするメリットがある。今後も市民の利便性を向上させるために努力したい。

し、ゴミ回収業者が3日ごとに回収する。角館子ども園は人数が多いので毎日の回収を検討している。

産業建設常任委員会

社会資本整備総合交付金事業費の 交付金配分率確定による減額補正

9月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和4年度一般会計補正予算や令和3年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和3年度の温泉・水道・下水道事業決算について審査されました。補正予算では、今冬の除雪関連経費が計上されました。

令和4年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

園芸用燃油高騰緊急支援事業費補助金	182万円	園芸ハウス用ヒートポンプ等の機械設備の導入支援
農地集積加速化基盤整備事業費	1,059万円	神代地区パイプライン等整備費
観光宣伝費	114万円	誘客イベント参加旅費、ノベルティグッズ作成、デジタル広告
仙北市飲食店事業継続緊急支援金	△269万円	売上げ減少の市内飲食店を支援する事業（申請業者不足による減額）
雪寒地域建設機械整備費	△5,097万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
道路新設改良費	△1億3,032万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
冬期交通対策費	4億5,738万円	冬期間における道路の除排雪関連費用

ここが知りたい 議論のポイント

令和4年度 一般会計補正予算及び
令和3年度決算認定の主な質疑

仙北市飲食店事業継続 緊急支援金について

質問 実績は122件に10万円ずつ交付したが、減額補正となっている。申請件数は何件を予定したのか。

答弁 前年度120件に交付実績があり、コロナウィルス感染症が長期化したこと、保健所からの営業許可を得ている市内飲食店が427件あることを踏まえ、30件増加の150件を想定していた。

住宅リフォーム促進事業費 補助金について

質問 利用実績、補助金の上限額と今後の見通しについて伺う。

答弁 この事業は平成22年から継続してきた事業で、段階的に補助額が減少してきており、それに伴い申請件数も減少傾向にある。利用実績は令和3年度51件、令和2年度86件である。上限額は一般世帯5万円、子育て世帯20万円、空家型仙北市在住移住子育て世帯30万円、空家型仙北市街移住子育て世帯40万円となっている。今後の見通しとして、子育て世帯・移住定住世帯の方に軸足を置いていくことを考えている。

令和3年度

公営企業会計決算認定の主な質疑

温泉事業

質問 企業債の本年度償還額が決して小さい額ではないが、今後の償還のピークはいつ頃になるのか。

答弁 本年度の企業債償還額は2,181万円であり、償還額のピークは3年後になる予定である。

水道事業

質問 供給単価が195円、給水原価が269円という現状と普及率65%ということが収支へ大きく影響していると思われるが、今後についてどう考えているか。

答弁 水道運営審議会で料金改定も含め検討して頂いている。普及率については秋田市が99・3%ということであり、ほぼ全市民が水道利用していることになる。普及率を上げたという思いはあるが、秋田市とは環境が違い、簡単ではないと考えている。

下水道事業

質問 個人設置型合併補助金は5人槽22基、7人槽6基、合計28基と整備されてきているが、今後、設置を検討されている方はいるのか。

答弁 まだ検討、申請されている方はいる。令和4年度の進捗状況は補助予定数32基に対し、現状で予約分を含め20基の申請を受けている。予算は3月まで保持しているため、今後の申請も期待できる。

令和3年度 公営企業会計決算を認定

(単位：千円)

会計名	事業名	収 入	支 出	収支差引額	企業債残高
公営 企業会計	温泉事業	45,025	49,329	-4,304	131,447
	水道事業	472,867	579,907	-107,040	3,623,681
	下水道事業	842,398	925,147	-82,749	5,922,781

令和3年度決算認定なる！

9月定例会では令和3年度の決算についても審査されました。各常任委員会での分科会審査を経て、予算常任委員会と本会議において各決算が賛成多数で認定されました。

令和3年度一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

区分	歳入 ①	歳出 ②	形式収支 ③ (①－②)	翌年度に繰り越す べき財源 ④	実質収支 ⑤ (③－④) 下段前年度	単年度収支
一般会計	22,726,509,312	22,166,206,500	560,302,812	61,392,000	498,910,812 408,861,760	90,049,052
特別会計	8,387,904,237	8,178,484,259	209,419,978	0	209,419,978 416,585,628	-207,165,650
内訳	集中管理	4,181,623,271	4,181,623,271	0	0 0	0
	国民健康保険 事業勘定	3,132,082,432	2,944,378,777	187,703,655	187,703,655 370,016,720	-182,313,065
	国民健康保険 神代診療施設	91,711,613	91,680,237	31,376	31,376 57,985	-26,609
	後期高齢者医療	337,262,491	337,160,841	101,650	101,650 1,220,606	-1,118,956
	介護保険	455,607,115	455,527,022	80,093	80,093 38,025	42,068
	生保内財産区	117,374,879	106,715,920	10,658,959	10,658,959 26,349,957	-15,690,998
	田沢財産区	61,722,319	52,589,256	9,133,063	9,133,063 18,136,840	-9,003,777
	雲沢財産区	10,520,117	8,808,935	1,711,182	1,711,182 765,495	945,687
総計	31,114,413,549	30,344,690,759	769,722,790	61,392,000	708,330,790 825,447,388	-117,116,598

令和3年度一般会計決算 予算委員会の質疑から

田沢湖黒沢工業団地での(株)ハレタス田沢湖の事業再開について

質問 令和3年度の企業誘致対策事業費における企業誘致活動の内容と黒沢工業団地での事業を延期している(株)ハレタス田沢湖の事業再開の見通しを伺う。

答弁 東京にある県企業立地事務所に派遣の市職員が、都内の企業を新規に46社訪問し誘致に努力している。

(株)ハレタス田沢湖については、現在も本市やフランチャイズ企業など4者で事業再開に向けての協議を継続しているが、水耕栽培野菜等の市場の変化が非常に大きく、事業再開はかなり厳しい状況である。

質問 (株)ハレタス田沢湖の事業は、水耕栽培に限らず他業種の事業展開も協議しているのか。

答弁 これまで準備してきた会社であり、様々な可能性を協議し雇用を生むような事業としたい。

角館町の内川橋の補修工事はどうなる

質問 令和3年度に内川橋の補修詳細設計が竣工し、今年度は、交通量調査を行っているようだが、今後の補修工事のスケジュールを伺う。

答弁 今年度は、事前協議資料の作成に必要な交通量調査を委託している。補修工事は、令和5年度に下部工補修工事から始まり、3年間で完成する計画である。

おでかけ市議会再開のお知らせ

コロナ禍により中止していた「おでかけ市議会」を再開いたします。

- ◆対象…市内在住又は在勤の方々で構成する 10 人以上の団体やグループとさせていただきます
- ◆開催場所…ご希望の場所で開催します
- ◆テーマ選定…意見交換するテーマを決めていただきます(例:やりたいこと、人口減少、まちづくり、財政、農林業振興、観光、企業誘致、病院、教育、クマ・イノシシ対策、環境、福祉関係、議会など)
- ◆参加議員…選定されたテーマにより所管する委員会の議員がおでかけして参加します
- ◆申込先…仙北市議会事務局 TEL0187-43-0334

小林幸悦議員 秋田県地方自治功労者表彰を受賞

角館町議会議員及び仙北市議会議員として、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績を讃えられ、秋田県知事から地方自治功労者として表彰されました。

人事案件(敬称略)

教育委員会委員

細川 伸也(46歳)【再任】仙北市田沢湖小松字二枚橋 97- 1

人権擁護委員

黒澤 福子(68歳)【再任】仙北市角館町山谷崎黒沢 149

千葉 悟見(68歳)【再任】仙北市角館町藺田新田 86

田口 陽三(69歳)【再任】仙北市田沢湖生保内字黒沢 197

とちぎ国体 カヌー競技

佐々木将汰（万六建設）・三島 廉（万六建設）アベック優勝！佐藤彩乃準優勝！

佐々木 将汰 さん（万六建設）

2018年福井国体以来となる2冠を達成することができ嬉しく思います。日頃応援していただいている万六建設の社長をはじめ社員の皆様の期待に応えることができよかったです。

来年の五輪選考に向けて、良い流れのまま頑張っていけます。

三島 廉 さん（万六建設）

秋田県代表として初めて出場し、優勝することができてとてもうれしいです。これからも、万六建設に応援・サポートして頂いている分恩返しができるように頑張ります。

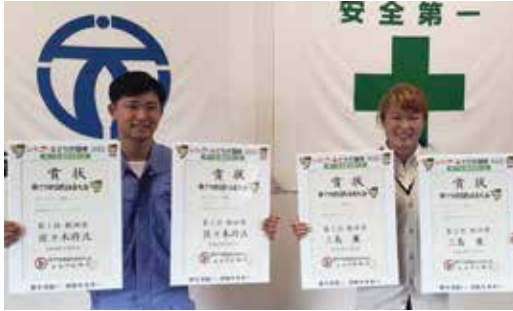
来年のパリ五輪選考で勝つためにしっかりトレーニングを積んでいきたいと思ひます。

佐藤 彩乃 さん（県協会）

スラローム成年女子カナディアンシングル
15ゲートと25ゲートで準優勝！

大会まで出来る限りの事をした結果が出た試合だと思います。また、たくさんの方からの応援が力になった大会でもありました。この度も沢山の応援ありがとうございました。

スラローム成年男子カナディアンシングル15ゲートと25ゲートで2冠達成！
2024年のパリ五輪出場を目指し、世界各国でのワールドカップを転戦している。



スラローム成年女子カナディアンシングル15ゲート優勝！25ゲート準優勝！
大学生の時、佐々木将汰、翼兄弟を懸命に応援している万六建設の社員を見て、ここで競技したいと思った。



東京オリンピックに出場後、一線を退いているが、仙北市で競技を続けている。現在、仙北市を拠点にアクセサリーを制作し販売している。

いきいき広場

田沢湖生保内字下瀧沢
兜森輝美さん（63歳）

田沢湖マラソン「フルマラソン部門」
3時間45分46秒
年代別4位（仙北市内第1位）



スタート直後でまだ声援に応える余裕のあるカブ君

3年ぶりに開催された第35回田沢湖マラソンに出場し、仙北市内の部で第1位に輝いた兜森輝美さんにインタビューしました。
仙北市トップランナーおめでとうござい
ます。今回の感想をお聞かせください。
この大会に入賞するため1年間走り続けてきたと言っても過言ではありません。30度を超える暑さの中、サバイバルレースと読み切り、前半は抑えて走り、湖畔に入ったらスピードアップする作戦が、思ったほどスピードが上がりず、亀になったつもりで完走を目指して走りました。途中リタイアする人が多く、自分もヘコタレそうになりましたが、普段練習している「田沢湖マラソンプロジェクト」の方々と喜びを分かち合いたい、そして一年間頑張った証を出すため、かあちゃん
の笑顔を見るため必死に走り抜きました。ホントに苦しく辛いレースでしたが、よくやったと自分を褒めたい気分でした。これも、田沢湖マラソンのために、一緒に練習している、プロジェクトの仲間のおかげだと思ひます。



【田沢湖マラソンプロジェクトの面々】秋田県内唯一のフルマラソン「田沢湖マラソン」のために県内各地から結集し、3月～9月の毎月1～2回湖畔で練習する集団。中止になった昨年＆一昨年の9月第3日曜日も「自主大会」を開催。3年ぶりの開催は、やっぱり燃えました！

（高橋輝彦記）

これまで参加した主な大会は。
第1回ふるさとあきたラン（仙北市代表）、第10回台湾高雄国際マラソン（仙北市派遣）、長年苦労をかけた妻の慰労を兼ねてホノルルマラソンにも参加しました。
小・中・高では野球部、社会人になり野球、ゴルフに熱中したそうですが、マラソンを始めたきっかけは。
ゴルフの飛距離を伸ばそうとジムに通い、ウエイトトレとランニングマシンで走ったのがきっかけです。初めは5kmが40分超という、とても遅いタイムでした。
今後の抱負をお聞かせください。
死ぬまで走り続けます。毎朝一時間程湖畔や田沢方面を走っておりますので、見かけたら声をかけて下さい。
※ナント、田沢湖マラソンから一週間後に横手シティマラソン（ハーフ）に参加して、年代別第2位（自己ベストタイム）だったそうです。63歳にして進化を続ける田沢湖の鉄人「カブ君」です！

編集後記

この度も仙北市議会だよりを最後までご覧いただきありがとうございます。

定例会開会中、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が見送られていた行事が例年に近い形で開催されました。角館祭りの山行事、田沢湖マラソン、秋田100キロチャレンジャーマラソン、生保内節全国大会等、市内に活気が戻ってきたように感じ、嬉しくなりました。

どのイベントも、感染症対策をはじめとする安全対策が加わり、関係者の皆様のご尽力により無事終えられたことに感謝しております。

開催を待ち望んでいた市内外の方からの、温かい「ありがとう」の言葉が心に残っています。

さて、議会だよりは多くの情報を皆様によりよく読んでいただけたら幸いです。また、皆様からのご意見をお聞かせいただければ幸いです。頂戴したご意見を今後の紙面作りで反映したいと思ひます。

寒い季節がやってきました。皆様におかれましてはくれぐれもお自愛くださいませ。

（西宮三春記）